

あとがき

私は、数年前よりタイのバンコクにある Institute of Dermatology で、皮膚科のレジデントに年に 8 回の講義を行っている。そこで感じたことは、日本の皮膚科の医療レベルが必ずしも高くないということである。確かに日本の研究レベルは欧米に匹敵し、東南アジア諸国と比べると、比較にならないほど進んでいる。しかし、わが国の実際の診療レベルは、欧米はおろか東南アジアの国々よりも劣っている気がしてならない。実際、バンコクの皮膚研究所では、日本から毎年 10 名近くの皮膚科の専門家が講義をしているが、講義内容は臨床医学ではなく、もっぱら皮膚の構造や機能など基礎的なことである。私は、タイ側からレーザー医学や美容皮膚科の講義を依頼されているため、ついでに世界標準となっているニキビ治療の話もする。しかし、東南アジアでは 20 年近く前からレチノイド外用薬が使用されており、彼らにとって私のニキビ治療の話はほとんど役に立たない。むしろ日本ではレチノイド外用薬が認可されておらず、代わってケミカルピーリングがはやっているという話をすると、日本はあれほどの先進国なのに何故そのような状況になるのか、と質問されてしまう。実際、日本皮膚科学会が出しているケミカルピーリングのガイドラインには、適応とならない疾患まで適応ありと記載してあり、多くの問題があるが、未だに訂正されていない。また、数年前に日中皮膚科学会で、イトラコナゾールの 400 mg パルス療法の治験結果を発表した時も、中国のドクターから何を今更という顔をされたのを覚えている。つまり、日本の医療はいくつかの問題点を抱えているが、特に治療面では、世界標準治療薬を使えないという問題がある。その結果、アトピービジネスならぬ美容ビジネスがはやり、薬剤の個人輸入という弊害も生じている。その一方で、欧米では有効性が認められていない疾患に対しても、日本では保険の適応がとれている薬剤もあるという矛盾もある。一度日本の皮膚科医も海外に出て、そこで行われている実際の診療をみると、日本の皮膚科診療の良い所、悪い所がよくわかるようになるかもしれない。(渡辺 晋一)

〔顧問〕

石川 英一
新村 真人
田上 八朗
西川 武二

〔編集委員〕

瀧川 雅浩
川島 眞
伊藤 雅章
塩原 哲夫
渡辺 晋一
天谷 雅行

学会・研究会のお知らせ掲載

皮膚科関連学会・研究会のお知らせを無料で掲載いたします。開催期日(演題募集がある場合は締切日)の 3 か月前までに本誌編集室までお寄せください。

臨床皮膚科 (第 61 巻 第 1 号)

2007 年 1 月 1 日発行 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 2,835 円 (本体 2,700 円 + 税 5 %)

(2006 年年ぎめ予約購読料 39,830 円)
(増刊号を含む 13 冊・配送料弊社負担)

(担当：川村・天野)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5715

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: rinhifu@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- JCLIS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に (株) 日本著作出版権管理システム (03-3817-5670) の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ (インターネット) は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床皮膚科」 URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinhifu/>